關大
発行所
関西大学校友会
大阪市大淀区長柄中通二丁目
編集発行人　林　信夫
電話大阪（351）代2072
振替口座　大阪55594番

関大会館の建設など

臨時代議員会ひらく

重要案件報告を行なう

臨時代議員会は十一月七日（土）午後二時から市内西区土佐堀大同生命ホールで代議員約二〇〇名が出席して開かれた。司会の阪本総務副部長、西村代議員会議長から最後まで議事が円滑に進められるよう協力の要請があって議事に入った。

岡野校友会長から、大阪近郊はもとより四国、九州、金沢など各地から遠路出席をねがったことについて感謝の意を表し、今回は重要事項の報告のために臨時代議員会を開催するに至ったと報告、また、大学の創立80周年を明年にひかえて、今後、校友会活動のため、大学のため、よりいっそうの協力を願いたいとあいさつ、久井理事長、中谷学長からもそれぞれあいさつがあって、以下①39年度の校友総会開催について報告が行なわれる。閉会は三時二十分。

なお、当日会場入口で、本会創立80周年を記念して明春行なわれる新国劇公演の前売券の販売が行なわれた。

▽総会開催について

①39年度の校友総会開催について大島総務部長から千里祭の最終日十一月二十三日に総会をひらくことに決定、案内状はすでに事務局において発送ずみであると報告、また、総会は懇親の場と定められた会則に則って、全校友一体となって総会を成功させるよう協力をねがいたいと要請、拍手でこれを了承した。

▽評議員候補者推選

②校友評議員推選については岡野会長から、さる五月二日の代議員会の議決にもとづき、校友会からの評議員候補者は二十一名からなる特別委員会で選出にあたることになった。この二十一名の特別委員は会長一任による七名の選考委員によって選出された。選考委員は数次の会合を重ねて基本方針、選考基準を定め、五月三十日寒川委員長から会長に二十一名の委員氏名を答申した。

この答申にもとづき、評議員推選特別委員会が候補者の選考にあたった。第一回の委員会にあたって私は「校友評議員は大学の経営に参画する重大な任務とその性格に鑑み、経営の才と、豊富な社会的経験に富み、かつ視野の広い人材を校友の各界各層からバランスのとれた御推挙をいただきたい」とねがった。委員会においては織田、佐代治氏を長として全体委四回、小委五回を重ね、基本方針、選考基準を定め、各界各層の代表二千五百余名について慎重に審議百名の候補者を決定、会長に答申した。候補者についてはその氏名を七月三十日校友会長から法人の評議員選考委員会議長に答申したことを報告、これについての委員諸氏に深真の謝意を表するとともに代議員会の御協力に感謝の意を表された。

▽関大会館建設

③関大会館の建設については極本副会長から報告が行なわれた。法人に設置された諮問機関「関大会館建設協議会」で具体案を検討してきたが、ようやくその構想を報告出来る段階になってようこばしい。本館については、その使用目的として、法人、大学の本部的な性格、また校友会館的なもの、と同時に時代の要請に応えて産学協同の場として本学の発展に寄与しうるもの、また場所は大学の千里山外苑内、建設資金は80周年記念募金、法人の負担分、その他による。会館の内、校友会の使用部分は校友会本部の事務室、集会場など数室である。

本館のほかに、交通事情その他を考慮して分室としてクラブ的なものを梅田、中之島周辺に設置することになったが、これについてはまだ具体案を得てない。

これについて①募金には分館の設置のための費用を含むか②募金について職域単位の募金の区分はどうなっているかと質問がでて、①について極本副会長から分館のための費用をも含む②寒川副会長から、一応の目安としてメンバーあたり三千円としていると解答、これを了承して報告を承認。

（ここで議長は寺西副議長に交替）

このあと、その他の報告事項として、向井財務部部長から、校友会本部の新理事会が発足、私、不徳ながら引つづいて理事長の職をと委嘱されました。この四年間、前回以上の努力をいたすつもりでおります。私学の経営は危機にあるといわれることく、これをいかに乗り切るかはひとり本学だけの問題ではありません。皆様方の御叱声をもう三年五年も手がけておられる。学位もこの関係で、テーマは「吸収冷凍機の熱学的研究」「研究なんてものはその時の花形をやってればパッとするんでしょうが、私の場合はいつの間にかやってるうち時間がたってしまった」とたんたんとしたもの。しかし最近ではこの方面での問合わせもあって少くとも日本では自分の研究が生かされていると喜んでおられる由。

□…大正九年京大工学部卒、昭和15旅順工大教授、昭30大阪府大教授、同34本学講師、同36年教授。この間金沢大の化学機械、大阪府立大の創立に参加され、さらに本学の工学部と新学部の創立には妙に縁がある。現に大阪府大の名誉教授。趣味は、庭の石や芝生のこつつりかわりを眺めながら本をよんだり、下手な（自称）謡をうなっているだけ。あまり下手な謡なので人前ではやれず、謡を聞いた人から「ほんとにおやりになる？」といわれるそうである。金沢大に奉職の長男、会社勤めの次男ともに独立して夫人と二人ぐらし。明治二十八年石川県生まれ。

教授室

工業技術研究所長に就任の 柳場 重男教授

□…「研究と一口にいっても、基礎研究、応用研究、開発研究とあってこの三つが、うまく結びつかなければうまくは行かない。大学自体の研究を基礎研究とすれば、研究所では開発研究ということになるが、何よりも立派な研究体勢を作るためにつとめたい。今さら私があらためて云うことではないが…」「また大学と産業とを結びつけることはいちばん大事なことだが、これをどういう方向に進めるかもこれから研究したい。国公立の研究所はけたちがいに大きいのだから、複雑な法規などとって運営上つめたいのが欠陥で、十分な機能を発揮しない。腰いすれば、研究所として産業界のモデルケースとなるよう任中に路線をつけておきたい」というのが就任の第一声。

□…自身の研究としては、日本で未開発だった吸収冷凍機を

論壇

雄大な構想に魂を！

関大会館への期待

関大会館設立の構想がまとまり会館建設協議会から理事会へ答申されたと伝えられる。

校友多数の希望が、八十周年記念事業としていよいよ実を結ぶ訳で、多年の夢がいま実現しようとしている。母校の発展と、校友の幅広い社会活動の成果がいま実ろうとしている。立派なものが建設されるのを祈るや切である。

最初は、校友独自の立場と運営で会館か、クラブを作ろうという素朴な感情から出発して、ここ十年余り、いつも案が出ては消え、他の大学のクラブのあり方を調べては首をひねり、また案を建て直すという足踏み状態が長く続いたが、遂に「八十周年記念事業」には必ず実現さすとの強い推進力が今日の結果を得たもので、まだ理事会で検討中であるが、とにかく来年秋には「われらが会館」として八十周年記念事業の中心をなすものとして五層楼の、大学のシンボルが出現する運びとなったのは喜ばしい。

理想は高く、夢は広く、社会に出て活動する校友が、気楽に共同の話題をもって集う場所、教学の地域社会への奉仕の場としての会場、等々、これまで種々論議された。一応、二百坪なり、三百坪なりの床面積をもった「容れ物」は作り得る。しかしそれを経営し、維持して行くための、年間経費、人件費をどうするかとの二つにセパレートして論議され、まず本館の構想がまとまりを見た訳である。そこには、大学の本部あり、教授のいつもデッドロックに乗り上げていたが、本年春、そういった事態を分析した上で、すべてをドライに割り切り

（一）本館（大学の本部、校友会、共同の施設）

（二）分館（クラブ的性格と、大学の出先機関）

校友クラブが発展解消して異質のクラブとして維持されているものが多く見られる。

この本館の出現で、経営、施設の面では一応満足するものが校友にも提供されるわけだが、ただ当初発案されたクラブ的雰囲気をもつた会館は期しがたい。

そこで第二の分館だが、目下協議中で大阪市の中心部交通不便なところに貸ビルのワンフロアを借りて気軽く出入できず、校友相互の親睦の場又は会議をもつための施設あり、会議室も大小多数を用意し、同時に校友会本部と、校友の利用に供する施設を作ろうと目論まれたもので、しかもこの建物「関大会館」は八十周年を迎える大学にふさわしい大学のシンボルとも見える設計と堪屋などのデザインに苦心が払われると伝えられる。

一方、分館組織については、未だ検討が続けられているが、東西各大学の「クラブ」が、多分に経営難となり、結局は校友会の力に期待せざるを得ない。一方こうしたクラブは最近業種別に組織され、法曹界、金融界、製薬関係、せん維関係など、系列別に多数生れており、社会的としては実利的にはその利用が多い。同じ大学を出ただけの一種のノスタルジャーに似た感情で結びあうクラブは運営いかんでは成長もし、衰える場合もあるものと見られ、当局者は慎重に協議をつづけていると聞く。さもあれます本館の青写真が明確に引かれて建設への最後の追込みにかかったことに敬意を表するとともに今後の発展を祈るや切である。

テレビ講座再放送

明春は新構想の番組も

八月三日から毎日放送で行なわれていた「テレビ大学講座」（くらしの中の法律）は十月末で終了したが、十一月二日からこの再放送が行なわれている。時間は毎週火曜日の午後三時半から四十五分まで。

明春からは他学部による新構想の番組が企画されている。「くらしの中の法律」第三回目以降の内容は次の通り。

③11月17日「離婚」木村健助教授 ④11月24日「親と子」松本暉男助教授 ⑤12月1日「契約」伊沢孝平教授・法博 ⑥12月8日「借地借家」明石三郎教授 ⑦12月15日「損害賠償」和田豊三教授 ⑧12月22日「手形と小切手」岩本慧教授 ⑨12月29日「民事事件の解決」高島義郎助教授

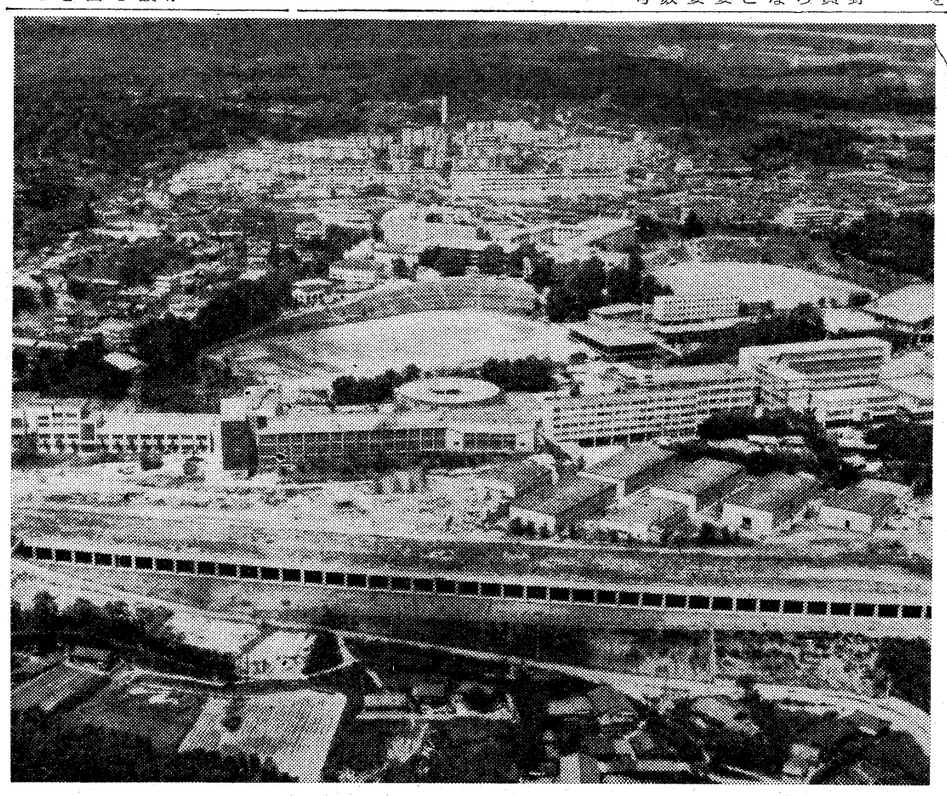
大島 市口 両氏歓迎祝賀会

東京オリンピック大会で選手団長の重任をはたした大島鎌吉氏（昭9大法）とレスリング金メダル受賞の市口政光氏（昭37学一文・辰野組）の栄誉をたたえての歓迎祝賀会が十一月二十四日夕午後五時から大学側、校友会の共催で開かれる。当日は法人の理事、監事、評議員、校友会役員、体育会OB、教育後援会関係者など約百名が出席の予定。会場はミヤコホテル。

質問カード設定

第二事務室で

第二事務室では、このほど学生から教授への質問に質問カードを設定した。前もって事務室へ質問したい教師、科目、質問内容を届出ておけば、教師の手のすいたときに、余裕をもって回答を受けることが出来るというもの。



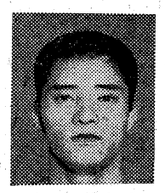
（発展をつづける大学の全景）手前は名神高速道路の千里山トンネル。その向う側第一グランドをはさんで手前左が経商学舎、右側工学部学舎、同実験場。円型の建物はさる十月に完成した専門図書館。グランドの上方法文学舎、その右第二グランド、右端新体育館

はなやかに校友総会

大島鎌吉氏・市口政光氏まねいて

家族ぐるみで参加をのぞむ

昭和三十九年度の校友総会は千里祭の最終日十一月二十三日（勤労感謝の日）千里山関大一高の体育館で行なわれることになった。（場所は阪急千里山線関大前下車東南約二百㍍、なおくわしくは会場案内を当日掲示）時間は午前十一時から午後一時まで。



市口　政光氏

大島　鎌吉氏

総会の次第は、校友会長、理事長、学長のあいさつについて、会務報告が行なわれる。

また、オリンピックに日本選手団長として活躍した校友の大島鎌吉氏、レスリングのグレコローマンバンタム級に出場金メダルを獲得した市口政光氏（昭37学一文）をまねいて、「オリンピックをふりかえって」と題しての講演がある。これは校友会の執行部で実現のため努力がはらわれ、同様にオリンピックの役員をつとめた校友会組織部長津田弘氏らの骨折りで実現をみたものである。

このあと新築の一高食堂で懇親パーティが行なわれる。

当日の会費は五百円、出席者には記念品を配布の予定。

総会終了後、千里祭への参加が望まれているが、これには千里祭実行委員会の協力で、校友席がもうけられている。おりから千里祭のフィナーレを飾る体育各部によるスポーツ行進、キャンドル・サーヴィスなどが予定されており、在学生、校友一体となっての盛り上がりが期待される。

執行部では、懇親の場として新たな意義を与えられた総会を成功させるため、校友の家族ぐるみの参加を強くのぞんでいる。

すでに羽曳野支部、和泉支部などでは支部総会をかねて、家族ども観光バスをつらねて参加する準備を集めており、盛況が予想されている。

委員会の構成決る

評議員会

学事・総務など五委員会

推選理事 西本・藤田氏に決定

寄付行為第七条第一項三号による推選理事は西本寛一氏、藤田友次郎氏と決定就任、また評議員会五種委員会の構成も別記の通り決定した。

西本　寛一氏

大正11専法卒　大正11弁護士試験合格　昭21本学講師　昭19・20大阪弁護士会副会長　昭23同教授　昭25法学博士　昭27本学評議員・理事　昭31評議員　昭37本学講師現校友会代議員　明34奈良県生

藤田友次郎氏

本学推選校友　教育後援会友長　関西経営者協会常務理事　日本経営者連盟理事　大阪商工会議所一号議員　大阪鞄業社長　関西電力取締役　大阪地労委委員　明治35年愛媛県生

▽評議員会委員会メンバー△

○印委員長　□印副委員長

総務委員会

○樫本喜雄　□今井康兼　池田要　二郎　井上敏雄　上野俊彦　寒川喜一　香坂要三郎　図師親徳　壷井義正　筧田知義　松村睦鴻　水野三郎　村上精三　安富敬作　吉富二郎

人事委員会

○小林巌　□中沢敏雄　岩佐清三郎　織田佐代治　津田弘　寺西武永井嘉吉　林信夫　林弘高　松尾高一　三好万次　矢野文雄　山崎敬義　吉田鹿之助

財政委員会

○戸根泰雄　□森正治　泉正雄　内田兼俊　黒岩博　杉原四郎　高尾忠男　中谷政男　中山幸市　羽野堅二　畑下辰典　春本利雄　前田春眞　丸谷紀芳　吉田一郎

給与厚生委員会

○大島武夫　□菊久池博　赤井常隆　秋山剛　朝倉茂直　井戸崎好次　市川重幸　越智比古市　大島治郎一　田中行雄　羽賀一郎　広田司朗　三島律夫　保井剛一　横田健一

学事委員会

○前川信之助　□池垣定太郎　阿部喜吉　大月伸　亀井清　神毛賀寿恵　佐伯五郎　竹沢喜代治　鉄井良男　浪江源治　福島四郎　三木治　向井稔晃　吉田三七雄

関大人事【十月一日付】

▽補職

工業技術研究所長　柳場重男（工学部教授）

校友会本部から

▼広報部会　10月28日（水）午後六時　天六学会内　機関紙116号の発行企画検討

学生・校友に限り特典
公安委員会指定
高槻市自動車教習所
所長（校友）織田佐代治
高槻市大字西天川五〇〇
電話　高槻⑤〇五六三

お座敷・北京料理
天山閣
生玉境内　電話（771）5611—5614

南紀白浜温泉
国際観光旅館
天山閣
電話白浜温泉局1番・大阪案内所（771）2588直・5611代

英国紳士服地
英国サビロールコールマン社
英国T・Bアンドサンス社
高級紳士服地
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目（電停前）
電話大阪（231）三六〇〇・三六〇〇
大阪駅前店　第一生命ビル専門大店
電話　大阪（341）六七一七

日本総代理店

西口の下

せんだって阪急の千里山駅で大阪行の切符を買おうとしたらたまたま大学の休みの日で駅も暇だったのか、切符を売る窓口をメにして改札口で金を受取って切符を渡しているのが、不馴のためのかなかなかはかどらない。他に駅員も居るのに手伝おうともしないし、先客が三、四人いるので、ジリジリしていたところ案の定大阪行の電車が入って来た▼こんなところでひっかかっていてはまた十分も待たねばならないので、隣の改札口から「切符は電車の中で買いますよ」といって通ろうとしたら、「いけません、そんなことをしたら三倍の料金をとりますよ」というのである。もちろん、さっきから冷淡な顔付で手伝おうともしなかった駅員が…▼呆れかえった話である。自分たちの不手際、非能率でこんな不始末になったのだから、本当ならば「すみません電車の中でも切符は買えますから乗って下さい」といわねばならないところなのに、誠にはや阪急電車もオチたものである。昔の阪急は終点へ着く前には車掌が網棚の荷物を一つ一つおろして「誰方様のお荷物ですか」といって乗客に手渡して廻るほど親切をモットーとした電車であったのに▼マ、しかしこんな事は旅行をした時、田舎の駅なんかではよく見かけた風景であった。汽車の発車時刻の何分か前にならないとどんなにお客がたてこんでも切符を売ろうとしないのである。それで皆は切符を買うため列をつくって待つのである。親切心も何もあったものではない。規則にかこつけて人を困らすことにかかっているみたいだ▼交通の取締にしてもそうである。人通りも少い滅多に電車も来ないような踏切でわざわざかくれていて違反する車を捕えるのに専念している。まるで巣取りのつもりらしい。それに信号の間隔がすごく早い。御宮筋以外は大きな幹線でも進行式ではないから信号毎に止らされる。流石に東京はややましである。信号の間隔も長いし、時には信号が赤になっても情況次第で車が流れる。大阪のようにいちいちピーとやって違反だの黄色だのといってるようなことはまずない。そんな暇なことをしていたらそれこそマヒだらけになるだろう。やっぱり大阪は田舎だ。

日本全国をもれなくネットし
躍進する太平グループ
北は北海道より南は鹿児島まで日本全国に
支店・営業所200カ所
家づくりからレジャー事業まで、安心して
お任せ願える太平グループに、ぜひご相談
ください。
当社提供TV番組
〔テレビ大学〕
毎週月・火・金
午后3時30分より
毎日放送テレビ
各社営業案内書御一報次第贈呈
大阪・大阪市西区阿波堀通り（信濃橋交差点）
電話（531）7531代表
太平住宅　太平観光　太平火災　太平ビルサービス
大阪支店　本社・東京都千代田区神田東福田町（第二太平ビル）電話（866）7271（大代表）
本社・東京都豊島区池袋東一丁目（第三太平ビル）電話㊋（983）7216（代）・㊐（971）0146～8
第一太平ビル　太平グループ各本社収容

カステーラ
明正堂
昭和27年法科卒　芝田精二
大阪市南区鰻谷中之町21
（心斎橋1丁南之辻東入）
電話　大阪（271）3264～6

KIKU-MASAMUNE
一番よい酒　うまい酒
菊正宗
神戸・灘　本嘉納商店

研究社の英語雑誌
英語研究　12月号　¥100
The STUDY of ENGLISH
〔随筆二題〕『アメリカの芸術』（J.F.ケネデイ）『モスクワ再訪』（J.ベバン）
『懸賞論文入選発表』座談会『懸賞論文と講評』
■戦後の沙翁劇映画▽新高等英語講座（解釈・文法・作文・実用英語）▽東京五輪を米特派員にきく▽映画『若い恋人たち』▽アメリカ語法覚え書▽英国の国会議事堂
生きた米英語の解明に！　12月号　¥120
時事英語研究
アメリカ短編小説作家論（オハラからサリンジャーまで）映画シナリオ「セパレートベッド」オリンピック選手の印象（宇野尚志）街で見た英語の実態（クリスマスカードと絵葉書）商業英語検定試験の結果（中内正利）英語街漫歩（奥平光）新語展望
東京都千代田区富士見町二ノ一　研究社　全国書店発売中

おちこちの支部から

秋季総会ひらく
大月氏の祝賀会も

東京支部

十月二十三日（金）午後五時半から東京都内私学会館ホールに六十余名が参集して秋季定例総会をひらいた。

開会前、ニュース映画と時間待ちに上映し、中山幸市支部長があいさつ。つづいて、校友北村徳太郎氏の中国についての講演があり、はるばる出席した中谷学長は理想の学園建設について講演し、校友の協力をよびかけた。

懇親宴に入り、太平グループの提供により、有名芸能人数名出演の太平観光ショーを催し、盛会裡に和気あいあいの雰囲気で会を閉じた。

大月氏の日弁連会長就任を祝賀
東京支部有志で開く

校友大月伸氏（元校友会会長）の日本弁護士連合会会長に当選就任を歓迎祝賀する会が、十月十二日午後五時から東京都内築地河庄で、東京支部有志の主催でひらかれた。出席者一同和やかに観談、大月氏の校友として初の会長就任を祝った。

出席者
大月伸　板橋親松　植田八郎　植松圭太　亀本寛　沢田勇夫　佳岡藤一　中村簡吉　田淵久中山幸市　畑孝二郎

能勢へ松茸狩りに
法曹関大会秋の懇親

法曹関大会では十月十八日（日）秋の懇親会として能勢山下へのまつたけ狩りをもよおした。

午前十時市内中之島の大阪高裁前を観光バスで出発、阪急電車宝塚線によってにぎやかな道中をつづけ十二時前、目的地に到着した。附近の農家で少憩ののちまつたけ山へわけ入る。当日は夜来の雨もやんで絶好の秋日和となったが、さすがに松林の中は下路がぬかるんで、こんな所へつれて来るのか、いや年に一度はこんな所の空気を吸わねばなどと急な坂に息をきらせながらの田園談義が展開された。獲物の方は、まつたけが植えてあるという悪口も聞かれたが、それぞれに相当な収獲があったようで、このあと、ほどよい場所にしつらえられた野外の宴席で秋の風物をめでつつの懇親宴にうつった。

歓談数刻、よようやく秋の日暮れの冷気がせまるころ、柿栗、まつたけなど秋の豊かな稔りを手に宴をとじて帰路につき、六時出発地に帰りついた。

出席者は次の通り。
梅原真治郎　仲森久司　上原洋允　西本覚一　岡崎寿　仁藤一　神宅治　賀寿恵　原田甫　樫本信雄　別城道一　上田稔　安富敬作　小林昶　山口周吉　渋川鶴咸　弓場晴男　段林作太郎　横田長次郎　竹内知行　片岡勝　鍋島友三郎　米田恒

役員も多数出席
私学会館で総会開催

京都

大阪の大同生命ビル講堂で臨時代議員会のあった十一月七日（土）午後六時から支部総会を烏丸中立売下ル京都私学会館で開催した。

母校から中谷学長、久井理事長、校友会から大島総務部長、寺西代議員会副議長が出席され、会員は約五十名であった。

木下副支部長の開会、岩佐支部長から母校の創立80周年には支部としての募金目標額の達成と支部独自の記念行事も考慮したいとのあいさつがあり、西田副支部長から事業報告をかねて支部強化のために名簿の発行、創立者の一人である小倉久先生の墓碑が大徳寺山内学桐院にあるので、明年の記念式典の際は墓前祭を行いたい計画のあることをのべられた。

なお名簿の発行準備のため総会通知千二百余名に対し、未着返送一六〇通、返信三二〇通のうち出席通知七〇名であった。未通知者については新名簿作成には登載せず正確な名簿とする予定である。

中谷学校からオリンピックの開会式で大島選手団長の堂々とした行進や、岩佐、津田の役員、観覧席で校友の諸君に言葉をかけられ、校友層の広く厚くなったことを感じたとの感想や、寺西代議員会副議長が先般大阪市会から渡来したとき、サンフランシスコで一外人が堀江青年の上陸したのはこの人だと教えてくれた、ここにもわが関大の同窓の名が出てなつかしく、何か肩身の広い思いがしたと話された。

大島総務部長から明年の80周年の記念祝典には大学会館の建設が実現されること、これが建築費募金校友総会に大島、市口両君を招くこと、大阪サンケイホールで新国劇正月公演は、創立80周年の祝賀公演が企図されたことなどの報告があって、午後九時すぎまでにぎやかな総会であった。

会員把握へ努力
住吉学園で総会

住吉支部

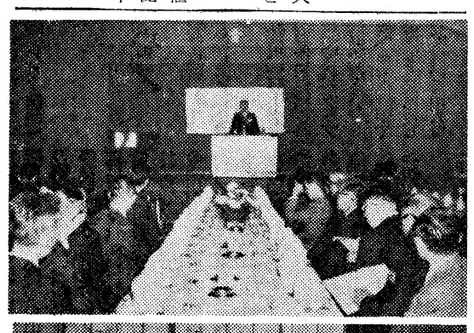
住吉支部総会は十一月八日（日）午前十一時から住吉学園で開いた。大学からは久井理事長、校友会から寒川副会長が出席され、支部長ほか四十数名が集った。

臼井副支部長の会務報告で、支部在住二二〇〇名に案内状を出したが、返送されたもの二〇〇、返信四〇〇のうち出席通知六〇名、返信なきもの約六〇〇で、会員を把握するために幹事の骨折りは大へんである。本部の代議員にしても支部推薦が主でなければ、支部に協力する度合が低いとのことで、今度の代議員選出には支部の意向を十分斟酌してほしい。また会員は通知に対しては出欠にかかわらず返事を出すことに責任を感じてほしいとのべられた。支部に限らず幹事の労を察してもらいたいものである。

議事は幹事長次田則道氏の後任に平芳市介氏、副幹事長に都築建一氏の就任承認、会則の一部変更のほか、八十周年募金目標達成に尽力することを決議した。

寒川校友会副会長から昨日の代議員会で報告された校友総会の開催、本年の評議員改選、関大会館の建設、校友名簿の作成などについて説明があり、一月十五日から二十一日まで大阪サンケイホールで上演される新国劇は母校ゆかりの出しものであるから挙って観劇を願いたいと語った。

久井理事長からは評議員の改選で再び理事長の重責をお引受けした旨のあいさつがあった。



（上）東京支部総会…講演する中谷学長、（下）大月日弁連会長の就任祝賀会

【写真】（上）は法曹関大会の野外宴、（中）関大大阪クラブの懇親風景、（下）は千里山一桃会の記念撮影。

学部長就任にあたって

第二に文学部プロパーの問題であるが、これにも大約二つの問題がある。一つは文学部の専門課程自体カリキュラム構成改革の問題と、教養学部的構想の問題である。後者をますとりあげると、既に東大の四年制教養学部は発足後約十年を経過し、その成果は見るべきものがあり、従って文部省は京大はじめ旧制帝大系諸大学にも四年制教養学部設置に踏み切ろうとしているという。およそ新制大学の基本精神はアメリカのカレッヂを模し、教養ある市民を養成することを目的とし、四年の学士課程に専門科目は従として来た。日本の新制大学では、この新制の精神が充分理解されず、とくに教授連には、その感が深い。かくて多分に旧制的なやり方を残したために、旧制的な学問科目にも徹せず、教養ある市民養成の方も中途半端である。東大、京大等においては近来、専門科目の研究は大学院でという行き方がかなり徹底し、ともに数千の大学院学生を擁するようになったが、本学などのように大学院の研究施設の貧弱なところで、また、学生に専攻を深く究めようという者の少ないところでは、こうした行き方は前途遼遠であろう。しかし教養学部的なものを将来置くか否かについての研究は、すでに文学部でもはじめられているが、一層研究を進めねばならねであろう。

次に専門科目カリキュラム構成改革の問題であるが、戦後における世界の社会科学、人文科学の学界では、社会学、心理学、教育学、地理学、人類学等の発展はまことに目ざましいものがあり、これらの学問の領域の拡大、深化が他の学問領域に及ぼした影響は驚くべき傾向がある。日本の他の諸大学でも、社会学部、教養学部等の設置は相ついでいる。ところが本学には未だこれらの学部学科はおらか、専攻コースさえもない。まことに非常なる時代おくれの有様である。これには色々の原因があるが、本学が勤勉硬化に陥っていることは疑うべくもない。今後こうした学問が将来他大学のように社会学部教育学部等として独立するまでにはなお若干の困難があろう。またこれらの学問の先生方が文学部を去って、他学部に移られることは、文学部の弱体化を招くと心配される向きもある。しかし私としては、既に時代は、これらの学問の独立を要求している時代に今さら古い学部の既存学科の充実を云々して、新しい学問のコース開設に踏み切れないようでは困ると思う。

これと関連して、既に東大では多数の学科を四コースに簡素化し、立命大でもやや違った構想の簡素化が行なわれた。本学も既に相当の研究を重ねて来ているが、近く何等かの案を打出すことなろう。特に二部文学部の簡素化は必須の問題である。

歯に衣をきせぬ発言をいうことで、私は思わず多くの方々から叱られ憎まれるようなことをのべて来た。「もう、お前なんか早くやめてしまえ」といわれそうだ。しかし、私は、そういわれたい。就任早々こんなことをいうのは、どうかと思われようが、私は勉強の出来ない、私のもっとも嫌いなこんな職は早く逃げ出して、研究一本に打ち込みたい、というのが偽らざる本音である。（おわり）

【註】横田教授は十月一日付で文学部長に就任。

雑感

文学部長　横田健一

爽涼の一夕を亡き友に捧げ
千里山一桃会

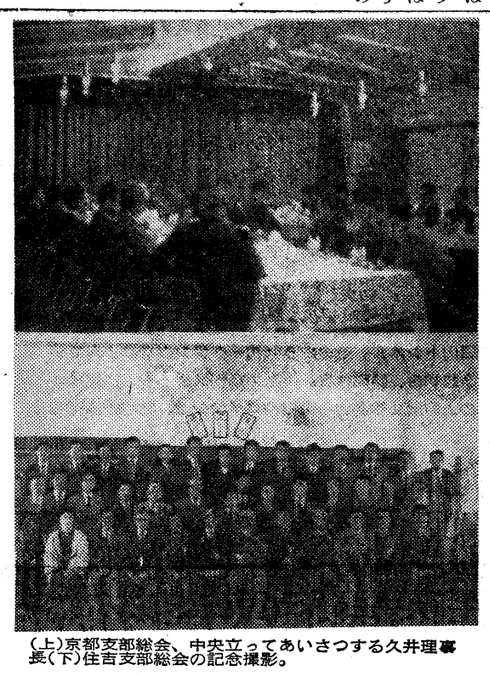
千里山一桃会（学部昭2卒同期会）の懇親会を爽涼の十月廿四日の夕、大阪南地の料亭「菅」で開催した。

同期の山田君、山池君、戸川君、竹割君が最近亡くなったと知ったら、今更のように自分等の齢を振り返り、無性に皆んなに会いたさの胸懐が沸き、急に在阪者の参集をみ、特に今夕の催しに、何れも舞踊の芸名を許された菊川君、札野君の令息、息女の好意ある特別出演で、数々の名人芸に恍惚とし、各自が楽しい興奮で、若き日にかえり、故人の思出、恩師等々懐旧談が懐旧談を生んで花を咲かせ、行秋は更けても、思出をゼロにまでする時もなく、なぜ一泊の企画をしなかったのかと愚痴が出る始末、御詫びを申しわたしたが、席を立とうとする者は無かった。

満場一致で決定された案は、後日全員に連絡することとして再会を約した。

見返れば　若き俤　ある会止
末だ残す　昔の七瓣　今宵出づ
（和田）

出席者
池尾良蔵　上村静馬　浪江源治
安井幸得　札野茂次　江里口正
行　菊川博　毛利常次郎　秋山源蔵　和田栄太郎（和田記）



（上）京都支部総会、中央立ってあいさつする久井理事長（下）住吉支部総会の記念撮影。

会員の多数参加を
毎月の常会で向上めざす

西支部

九月十八日西区の喫茶"再来"で幹部会を開き、毎月の常会の進路を再検討して、ますます常の知識を拡張するよう決議した。十月十八日には、やはり"再来"で毎月の常会を開いた。今後とも各会員の参加を望んでいる。支部の連絡は西区京町堀二の五一日西ビル内大塚平夫　電話(0)三七五一

【編集部から】支部だより、職域だより は四百字用紙一枚半～二枚（新聞40行～60行）ぐらい。写真をそえて校友会事務局までお送り下さい。原稿締切日は毎月五日です。

関大大阪クラブから
評議員43、役職員9名

春は郊外、秋は市内との恒例の関大大阪クラブの懇親会は、十月二十七日（火）午後六時から布施足代新地"寿楽"で開催した。

当日は大学の会議など重なったために出席者は約四十名であった。

中務理事長はこの八月に法人の評議員の改選で会員から四十三名の評議員を出し、理事長、理事四名、監事一名、評議員会議長、副議長など役職者九名である旨を発表して、母校のため折角お骨折り下さるよう期待して祝意を表した。

なお大阪市議寺西武君はサンフランシスコで開催の世界見本市を見学してこのほど帰朝し、同じく植田完治君が欧州の各地の見本市見学のため渡欧中なることの報告があった。

宴会のかくし芸も例の通りにぎやかにくりひろげ、学歌を合唱するころはすでに九時であった。

なおクラブの新名簿が出来たので当日の出席者に配ったが、欠席者には送達されるはずである。

●関西大学創立80周年記念公演
新國劇
劇界の重鎮北條秀司（校友）の名作そろえて……
「司法権」3幕4場　関西大学創設の父児島惟謙の偉大な業績！大津事件をここに再現する……
「王　将」3幕4場　大阪の生んだ将棋の鬼　坂田三吉伝　校友辰己柳太郎の至芸で見せる！
ほかに殺陣
800円・600円・300円
正月15日▶21日　昼11時30分・夜5時
校友会員は800円を600円に割引き　校友会事務局まで
大阪駅前　桜橋　サンケイホール

宮本氏の栄転祝す
食糧事務所関大会総会

農林省大阪食糧事務所関大会（会長伊達重雄＝昭13大経）の定例秋期総会は九月二十八日、市内北区「江川餐」で開催された。

秋の総会は十一月七日（土）午後六時から大阪地区の会合として阪急沿線中山の中山荘で開催した。校友会から坂本総務部副部長が代表として出席して親睦の実をあげた。

出席者　来賓坂本竜夫氏
木藤安之　高牟礼軍蔵　藍忠勇
田辺準義　田和義夫　松川利一
天野金次郎　松川利一　藤田稔
藤田史郎　金光昌己　光法茂
小川重夫　八木康弘　新藤明
栗井孝　神山伸一　白井芳洋
大西昌平　花田卓　藤田日出雄
浅岡勝彦　長田義明　深谷三郎
田中敬三

新国劇の前売券
事務局で発売中

新国劇の新春公演の前売券は校友会事務局で取りあつかい発売中である。また校友総会、千里祭当日も受付で販売の予定。価格は校友に限り八百円を六百円に割引き。

日立造船関大会
総会は中山山荘で

日立造船関大会は設立してから十周年を迎え、会員は本社、桜島、築港、因島、神奈川工場のほか東京支社を合せ四十七名にのぼり機関紙"関大"も毎号送付をうけている。年二回の会合を開いて親睦を重ねているが、母校の80周年記念募金は全会員によびかけて申込みをうけ、来る十二月には一括して母校に寄附することになっている。

日本タクシー
社長　坂本長作
本社　大阪市旭区赤川町1丁目69　TEL(920)代2571・1537～1538
営業所　南(211)8537　梅田(341)7050　堂島(341)2953　今市(650)0223　中ノ島(231)5393

○…九代目の金沢国税局長松本さんは"学者"といわれる反面姿勢の低さ、人あたりのやわらかさから"親爺"といわれるなど、部下の信望も厚い。その専門は法人税で、一方松井さんより十六才年長で高松国税局長を最後に退任された実兄が、所得税関係の権威で、国税庁時代は「松井兄弟がそろえば日本の税理論ができあがる」とまでいわれた。

金沢国税局長の松井静郎氏

「日本の税制度は申告制になっている。昔とちがって税務署が勝手に決めて税をおさめさせているというわけじゃない。私たちを税金屋という人は、どうもその点をカンちがいされているようです……」

○…毎年、中央経済社から「法人税の実務」を出版しておられる松井さんは"税金屋"といわれることにいっこう苦痛を感じておられないようであり、日本人の納税意識という話になると、とたんに表情がくもる。

○……松井さんの話だと、こんな誤解はすべて納税者の無知からおこっているという。だから松井さんが第一線に出て、部下に一番要望しているのは"PR"ということ。それも「親戚の者が兄弟が相談にきたもので、税金をおさめるものの身になって考えてやれ」という。松井さん自身も、局内ではわからないことがあったら、どしどしたずねてくれというやり方だ。

○…ところで松井さんはたばこは全然ダメ。お酒も「どうも…」とおっしゃる。趣味は旅行と写真。本庁時代は出張の関係で全国各地へ出かけたが、写真道楽は旅行の中からはじまったそうである。8ミリをうつし出したのが十五年前。カラーもコダックから直接フイルムをとり寄せてうつしたというから、趣味とはいえその道では全国でも草分け的な存在だ。最近は局員のためのみに応じて「8ミリの国内名所めぐり」を披露している。

○…男二女とうまく"生みわけた"お子さんはそれぞれ就職したり、縁づいたり「これからは女房とのんびりくらすよ」とおっしゃり、関大を卒業して心からよかったと思うことを「当時法律をクソ勉強したこと」と自信に満ちた表情で話された。

兵庫県赤穂郡出身、明治41年生れ、国税庁調査査部調査課長、直税部法人税課長などを歴任して三十八年六月就任。昭5専（の）

大和文華館

ロビーから静かな大和路が見わたせ、中庭の青い竹が目をやすませる。大和文華館は、めぐまれた環境の美術館です。

絵画　彫刻　書蹟　陶磁　漆工　染織などと、国宝や重要文化財を含む逸品を集めています。春秋には特別展も開かれます。（月曜休館）

近鉄奈良線・学園前駅すぐ

神月助教授出発
米カーネギー研究所へ出向

工業部神月彰助教授・理博はワシントン・カーネギー研究所の研究員として出向のため十月三十一日大阪発、十一月一日羽田発日本航空機で出発された。

同助教授は明年十月末まで同研究所に滞在、カーネギー南米地震観測隊に参加するほか、ここで得られた地震記象の解析研究にたずさわる予定。なおこの研究は世界地球中間層十部開発計画の一部をなすものである。

藤本勝次文学部助教授は京大東南アジア研究センターの一員として、明年一月から約三ヶ月間、マラヤ、インドネシア方面に出発の予定。

司法試験合格者

本年度の司法試験合格者の氏名は次の通り判明した。（　）内は法学部卒年度。

渡辺敏樹(27)　栗原宗武(36)
万代彰郎(36)　上村昇(25)
得本泰三(28)　奥貞幸次(34)
松岡繁男(39)　杉野弘(35)
吉川忠信(37)　古川彦二(33)
新宅日出男(37)

司法研究室入会式

司法研究室天六グラスでは、十月十五日、入室試験を行なったが、入室志望者八十数名のうちからこのほど首席合格者一輔浩幸氏（昭33学一法）はじめ五十名の合格者を発表した。合格者は今後一年間、司法試験合格をめざして毎日曜日の答案練習会、ゼミなどを行なうが、十月八日（日）には千里山学舎第一会議室で入室式、懇親のソフトボール大会、パーティが行なわれた。

一次審査おわる
学長賞懸賞小説

二部文芸部が募集していた第二回学長賞の第一次選考がおわって次の五篇が第一次審査を通過した。

「お伽の臨終」西瀬戸緑（法四）
「ある祭」市川正次郎（文四）
「再会」飯島美保（文二）
「十七才の軌道」小記文（文二）
「海と空との間」川口勝（文二）

以上は栗駒正和文学部助教授、重本利一同助教授、小川信同専任講師、木原成人学友会委員長の手で審査が行なわれたもので、このあと作家の三浦朱門氏によって最終審査が行なわれ、その結果はパッカナール17号に発表されることになっている。

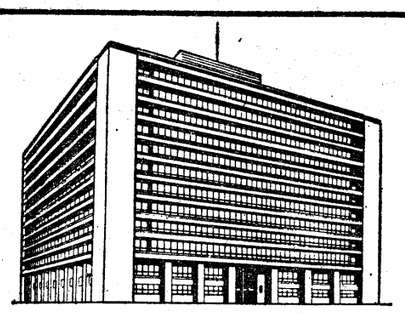
開架室完成
天六図書館

改装中だった天六第二図書館の開架室が完成した。座席数も六〇〇席に増え広く明るくなった。開室時間は週月十時～二十一時、日曜十時～十七時。

ジュピターカーボン紙
帝国カーボン紙株式会社　取締役社長　北原元茂

建築設計・土地測量
井上一級建築士事務所
井上博造
大阪市大正区大正通六の一五七
電話(551)一一一三番　七五〇五番

不動恒産株式会社
社長　忽那文治郎
本社　大阪市浪速区元町四丁目二三六番地　電話　戎(641)六一六〇番
西成連絡所　大阪市西成区潮路通五ノ五　電話(661)一九五四



住友貸付信託
シクミ
●1口1万円から　●元金保証　●予想配当率2年もの、年6分5厘　5年もの年7分3厘7毛
財産づくりのデパート
住友信託銀行
本店・大阪市東区北浜5丁目（新住友ビル）(203)1321(代)

株式会社　小田正商店
本社　大阪市東区紀伊国町九四六
電話　大阪(761)5265 5266 5267 5268 4147 0168
名古屋営業所　名古屋市中川区外新町三丁目二八　電話　名古屋(361)五九二四番　六六九一～二番
営業目品
仮設機材・建設機器
道路用品・浄化機器
一般鋼材・鉄工々事

豊国商運株式会社
本社　大阪市大淀区大淀町中五丁目十四　電話　代表　四五八局　七五五一番
事業所　長岡出張所　豊中作業場　梅田倉庫、浦江倉庫、佃紙器工場
営業種目
貨物自動車運送
重量機械作業
倉庫業
内外地向梱包
パッキングケース製造

新国劇に寄せる
感想のかずかず

カットは新国劇のマーク

わざわざ御懇書いただき恐縮いたしました。母校にはとかく礼を欠いて来ていますので、二重のよろこびです。もう一度けい古をし直し、充実したものにしましょう。「司法権」は「児島惟謙」と改題してもいいのです。皆さんへよろしくお伝え下さい　草々

10.21 北條秀司

校友会の協賛が決まった新国劇の正月特別公演に際し従来からの渉外担当であった常議員の丸岡武氏（昭32学二法）が、作家の北条秀司氏にその経過の報告と上演の挨拶の書面を送ったところ、写真のような返信が届いた。

大7専法　K氏　の値上げのことだと思っていましたが、これは結構なことです。しかし、ぼくたちには高過ぎます。

学生法二　O氏　新国劇も結構だが、授業料値上げ問題も校友会としては考えるべきだ。

昭25経　W生　校友会らしい仕事が、戦後やっと「新国劇」の御陵で実ったと私は感じました。

東京六大学の一卒生　これを東京でやられたらぼくたちはおてあげです。関西大学の諸兄、おめでとう。

関学大昭28法卒生　関大のみなさんおめでとう。卒直にこう申しあげたい。

母校のある団体　催物としては悪くはないが、大学からも校友会からも、正式の挨拶を貰っていないので戸惑っている。協力することにはやぶさかではないけれど。

常議員　某氏　誰がどう苦労し、どんな経過をたどったにしても、これは是非満員の観客をつらねて成功させたいと存じます。

代議員　某氏　絶好の機会だ。大学P・Rの実をあげていただきたい。

工学部　O教授談　校祖の戯曲、校友の作品、校友の俳優、そして八十周年、この見事な統一こそは、天の配剤というべきだ！

（順不同）

勝点4で二位
優勝は同志社大
関西六大学野球閉幕

関西六大学野球秋のリーグ最終週に関学大と対戦した関大は一勝一敗のあと十三日の決勝戦に勝ち、これで勝点4となったが、第一週に同志社大に敗れたのが響いてたった二位。優勝は同志社大、三位関学、以下立命、近大、竜大の順になった。

関西六大学野球総評
見事な返り咲き
淋しかった応援

関大　岡田信吾

通算十一回目の優勝で幕を閉じた。今春は同大の活躍、再起関大の二位進出また劣勢を気力で挽回しリーグ昇格初の勝点を上げた、竜谷大と内容のあるシーズンだった。しかし依然学生野球の華である学生の応援が少なかった事は淋しい限りである。

三シーズン振り六大学そろっての秋のリーグ戦は同志社、関大、関学、立命、近大、竜谷大の順で終了した。

去る八日、日生球場で監督就任九シーズン目にして優勝の喜びを味わった渡辺監督は「学生野球とは〝気力〟とテーム の〝和〟ということがこうまで大きなものが」と感慨深かげに語った。

秋の王座についた同志社はこれまでにない気力の充実を見せた。これまで同志社優勝の前に大きく立ちはだかったのは気力の不足ともろいのが同志社の欠点とされていたが初戦で関大を打ちくずしてからの同志社は投、打ともに好調の波に乗り最終戦の近大戦でも、四番藤村の逆転スリーラン・ホームランで逃げ切ったあたりはあざやかだった。

チームワークのもろさであった。チーム全体の渋が抜け競り合いに入る速球とカーブを決めて九勝をあげ同志社優勝への大きな原動力となった。

久野は全試合に投板、外角低目に入る速球とカーブを決めて九勝をあげ同志社優勝への大きな原動力となった。

春のシーズンを棒に振った関大は心機一転新佳秀高監督の指導のもと谷川主将を中心に良く戦ったもの、その後、近大、立命、竜谷大、をストレートで敗ぶり最後の関々戦まで優勝の望みをつないだ。

西川（現広島球団）が抜け弱体の関大は投手陣も左腕矢滝と西地方から、わが関西大学からは選手として、ただ一人オリンピック大会に参加、しかも金メダルを獲得、応援に来られた大島団長も、後輩の輝かしい成績に、非常に喜んでおりました。

市口君は既に皆様も御存知の如く、ローマ大会では七位（当時一位）、東京大会では絶対に表彰台の外にまで、知らせしめる、偉業は偉大なるものであります。

市口君はローマ大会より帰国後、私に「フリースタイルをやりたい」と希望しましたが、グレコ・ローマンに転向するように、色々と説得し、やっとのことで納得し、東京大会では絶対に表彰台の優勝の色が濃くなりました。

四回戦、スピイアトウロ・バッシュクス（ブルガリー）に判定勝ち。

五回戦、チケルツ・シュバツ（チエコスロバキー）をも判定勝ちして決勝戦を待たずに優勝が確定、ここに金字塔をうち立て、関大史上に輝しき一頁を飾って呉れました。

日本でグレコ・ローマンを取り入れてより、六年にして世界の強国となり、今後はグレコ・ローマンの先駆者として、また立派な指導者として、活躍して呉れることは間違いなく、今後の後輩のものも、市口君に続き来るメキシコ大会には、必ず活躍して呉れますことを期待しております。

【昭13専一経・椿本チエイン製作所・校友会代議員・日本アマチュア・レスリング協会理事　西日本学生レスリング連盟会長　大阪府アマチュア・レスリング協会理事　松井清】

『有難う』市口政光君
五輪優勝の偉業によせて

松井清

東京オリンピック大会は、無事盛会裡に終りました。強化本部の予定の十五個の金メダルも、十六個獲得という、輝やかしい成績をもって、世界の人々も、日本の存在に認識を新にしたことと存じております。

一部の不振が目だつなかで、レスリングは強化本部の予定の、二個の金メダルをオーバーすること三個の、全体の1/3の五個も、あげたことは驚異の外はありません。

ヘルシンキ大会では一個、メルボルン大会では二個の金メダルをあげながら、ローマ大会ではわずか銀メダル一個にて、全員丸坊主で帰国、その後、心気一転したびたびの海外遠征、あるいは、数度の強化合宿に、練習に練習を重ねた結果が、今回の成績となりました。

その中にあって市口君は、不毛の地として、条件的にも不理な関西地方から、わが関西大学からは選手として、ただ一人オリンピック大会に参加、しかも金メダルを獲得、応援に来られた大島団長とあわせ、わが関西大学創設以来八十年、その間各部より幾多の選手が、各大会に出場、誰一人としてなし得なかったことを、二度まで、なし得たことは、レスリング部のみならず、関西大学の名声を海外に立って見せますと、固い約束をして呉れまして、その後四年の長き間、節制につぐ節制、練習につぐ練習、技の研究にと、その彼の姿を今思い出し、約束を果し、すぐ目の前の表彰台に立った時の、彼の嬉しそうな顔を見た時、とめどもなく熱いものが流れるのをおぼえました。

十月十八日に選手村に入りましてから、練習中に足を挫き、試合当日まで、練習より遠ざかり、出場せねばならぬ一抹の心配がありましたが、

一回戦には、スルラ・ノール（アフガニスタン）を判定勝まで、あと四秒という時に、やっとのことで優勝の姿にかえり、いよいよ調子づきました。

二回戦では、フリッツ・スタンゲ（ドイツ）を判定勝ちで降し、

三回戦は、ヤノシュ・バルガ（ハンガリー）に判定勝、このバルガは昨年度の世界選手権者で、東京大会では市口君と共に優勝候補でこれが事実上の優勝戦にして、バルガに勝ってからは、市口君本来の優勝の色が濃くなりました。

中央に立って見せますと、固い約束をして呉れまして、その後四年の長き間、節制につぐ節制、練習につぐ練習、技の研究にと、その彼の姿を今思い出し、約束を果し、すぐ目の前の表彰台に立った時の、彼の嬉しそうな顔を見た時、とめどもなく熱いものが流れるのをおぼえました。

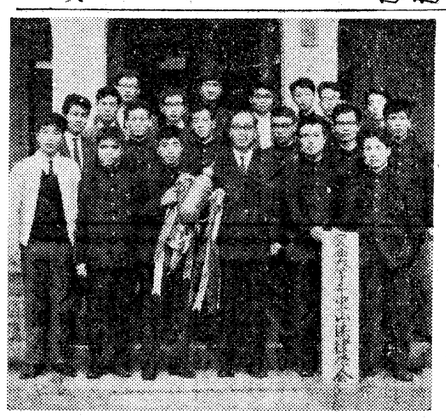
七年ぶり総合優勝
関西学生法律討論会

昭和三十九年度第三回の関西学生法律討論会（主催関西学生法学連盟加盟八校　後援大阪高裁、高検、大阪弁護士会）は十一月七日（土）午後一時から本学誠之館特別講堂で行なわれ、本学代表の論者網本浩幸君（法三・千里山法律学会）が一位に入賞した。今回のテーマは憲法、本学桜田教授の出題による「日本国憲法第八十一条につき論ぜよ」で、大阪地裁西尾貢一判事、大阪高検岩本信正検事、大阪弁護士会田村徳夫氏、同志社大井多賀子講師、京大宮田豊助教授、本学桜田育教授によって審査が行なわれた。網本君への講評は、判例無視との批評があったほかは好評で一位となった。

また本年三回行なわれた討論会のうち、一回目（本学代表林川毅君・法三）二回目（小椋義顕君・法三）ではそれぞれ四位、一位であったが、三回の総合成績で本学が一位となり、最高裁長官杯を獲得した。これは三十二年以来七年ぶり、二度目のことで、大会終了後、中谷敬寿学長をかこんで喜びの記念撮影が行なわれた。

当日七日は特別講堂に満員の学生が聴講のため参加し、千法会関係者はPRに力を入れた結果もあるだろうが、一般学生の関心が他大学の場合よりずっと高いと語っている。

なお、今回の上位三校（本学のほか神戸大、京大）は十二月中旬、福岡大（予定）で行なわれる全国本学生法律討論会に参加することになる。



中谷学長をかこんで千法会【大学院前で】一

二十六日から三日間
天六学舎で学園祭

二部学友会主催の第十七回学園祭は十一月二十六日から二十八日までの三日間、天六学舎で行なわれる。時間は毎日一時間目の授業が終わったあと七時から九時半までが予定されている。

多少出足がおくれたため、プログラムなどはまだ出来ていないが、催し物の内容は、演説会、映画、体育演舞、ダンス、絵画・写真展示など。本部企画としては卓球大会、バドミントン大会などが予定されている。

関大労音同好会発足

過去二年間、新聞会の一組織であった音楽同好家の集い労音は、九月から新聞会より独立し、関大労音同好会と改名し、新たに発足した。

これは学内の労音会員が急速に増加し、単なる少人数の音楽鑑賞会から脱皮するために、今後の活動方針は、月一回催される各例会に参加、合評会、音楽理論などの研究（労音の代表や音楽評論家と合評会なり講演をもつ予定）を行なう。労音とは、正式名は勤労者音楽協議会。入例会（創造音楽）B例会（ヴランング）C例会（ポピュラー・ジャズその他）三つの会からなり、会費は、フェスティバル、毎月会費、産経ホールなどで開かれ、古典から現代音楽まで安い料金で良い音楽を鑑賞するものである。

千里祭に模擬裁判
千里山法律学会

千里山法律学会では千里祭に模擬裁判を行なうため井上嘉文君（法三）が中心となって準備を進めている。内容は「暴力団の殺害事件」でこれにからめて青少年の非行問題をもりあげる。日時は二十二日の午後一時から経商32教室で。当日は大阪高裁竹沢喜代治判事の講評、中義勝教授の解説を行なわれる。現在まで決っているキャストは、裁判長小椋義顕君（法三）検事武信洋一君（法三）、弁護人井上嘉文君など。

関西合唱コンクールで二位

第十九回関西合唱コンクールは十一月一日市内中之島フェスティバル・ホールで開かれ、大学の部に出場した本学グリークラブは二位を占めた。

写真部が〝沖縄〟展
調査行の成果を問う

今夏沖縄へ撮影調査隊を送った二部写真部はこの成果を問うため、11月12日から17日まで市内大阪駅前の阪神百貨店8階で〝沖縄〟写真展をひらいた。後援は毎日新聞社、沖縄事務所、教育後援会など。写真部が主として追求しているのは、沖縄の離れ島の生活、沖縄の本土復帰の感情ということだが今回の展覧会のねらいは、最近、沖縄に対する関心が高まっているが、何よりも大切なことは沖縄を知ることで、そのために出来るだけ多くの人に島の実情を知ってもらおうというところにある。出品は調査隊に参加した10名の共同作品40点、個人による組写真が40組以上で、場所がよいせいもあって連日多数の観客の好評を得ている。【写真】は作品の一つ

現地での本土復帰運動のもよう。

千五百名が決定
十月末の就職状況
法文　経商

十月末日就職課がまとめた明春卒業者の就職決定状況は―。

法学部の決定者四四四（就職希望者六四一＝以下同じ）、文学部一七〇（三九三）、経済学部四八五（六五〇）、商学部三五三（四六八）で法文経商学部合わせて一、四六一名の就職が決定した。

このうち企業規模別にみると、巨大企業（資本金十億以上）へ二三〇、大企業（同一億以上）へ五三二という状況にある。

また上学部では各学科ともすでに殆んど全員が確定している。

就職課でまとめた数字は以上の通りだが、未決定者への問合わせの結果、就職決定との返信をよこすものが多く、とくに中小企業への求職が容易である現状から、ここに現われたもの以外にも相当の決定者がいるものと就職課ではみている。ただ、事務処理の上で、決定者はできるだけ早く就職課と連絡をとるようにとのことである。

▽公務員関係△（ただし合格者のうち、決定先への就職意思を確認したもの）

▽大阪府　小西健夫（法）　倉内英（法）
▽喜田（経）　新谷誉清（二経）
▽神戸市　大坪栄一（法）　和泉善太郎（法）　福岡泰之（法）
▽伊丹市　田中利明（法）
▽宝塚市　藤本勝也（法）
▽西宮市　岡島徳男　金井健一
▽小林兜義　平岡和隆　三輪忠志
▽新合勝　増原隆（以上法）　加藤忠　富田正明　田辺繁郎　西山博（以上経）
▽四川興（二経）　津川治（法）
▽畑中康雄（法）
▽三重県　上田周三（法）
▽愛知県　加藤隆司（経）
▽広島県　国清秀昭（商）　森下正則（経）
▽香川県　川北文雄（法）
▽松原市　勝山昇（商）

▽就職決定者△　採用試験の姿にかえり、いよいよ調子づき

神宅賀寿恵氏急逝

元法大理事長弁護士神宅賀寿恵氏は十一月十二日午後四時大阪地裁の民事第二部で用談中、心臓マヒのため急逝された。七十一才。葬儀は十八日午後二時から北区若松町大阪弁護士会館で執行される。

神宅氏は徳島県出身、大正四年専門部法科卒、弁護士を開業、大正十一年関大留学生として独伊に留学、同十四年講師として民法を担当された。昭和二十三年から三十年まで大阪市公安委員の市府公安委員長、三十四年八月から自川理事長退任後翌年九月まで関大理事長を歴任された。なお校友会の職域会である関大法曹会、結成以来会長であった。

遺族大阪市北区若松町一ノ三二、長男寿昭氏。

岡野梅子さん（大学理事・校友会長岡野衛士氏の夫人）は十月十八日死去された。告別式は同二十日豊中市本町六丁目一〇八の自宅で執り行なわれた。

鶴村盛郷氏（大13専商・昭4専商）十月二十五日午後三時逝去、告別式は同二十七日河内市玉井六六ノ五の自宅で執り行なわれた。遺族は夫人千代子さん。

藤田喜代野さん（大阪府広報課長・校友会広報部副部長藤田令光氏の母堂）は十月二十四日逝去された。七十八歳。告別式は二十六日堺市諏訪森の堺聖ナモテ教会で行なわれた。

林貞孝子さん（林正夫氏＝昭9専二法・大阪市清掃局作業部長・校友会代議員の長女）は十一月八日死去、告別式が同十日長柄斎場で行なわれた。

桑田君初の入賞
嘉悦杯新人大会

第四回嘉悦杯全日本新入学生弁論大会は十月三十一日日本女子経済短大で行なわれ、本学から出場した桑田大君（法一）が三位に入賞した。

この大会は新入弁論大会としては全国でもっとも大規模なもので、本学は過去三回次点をつづけ、入賞したのは今回がはじめて。論題は「我国の自衛戦の必要性を論ず」だった。

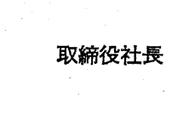
また第十五回野党杯争奪関西学生優勝雄弁大会は十一月二十三日千里祭の最終日に学内法文講堂で行なわれるが、これには過去十五回のうち十三回まで本学雄弁会が優勝しており、今回も優秀な成績を収めるものと期待されている。

五位に入賞
全関西学生自動車運転競技大会

学生ドライバーの運転技術向上を目的にひらかれる第十六回の全関西学生自動車運転競技大会は十月二日門真市の大阪府自動車運転免許試験場で関西二十四大学が参加して開かれた。競技方法は場内のコースを安全、正確に指定時間内に走破するもので、本学は団体5位に入賞。

製造・代理販売
包装・電気・建築・産業資材用
ガラス・プラスチック製品
大同硝子興業株式会社
大阪市北区（堂ビル）361―1141 代 3161・9784
工場　城東・和泉

わたしの立場
新宅目出男



編集部から本年度司法試験の合格体験記を書くように言われた。元来、合格体験記などというものには、自画礼讃的なものが多いようであるが、これも、その例にもれない。お読みづらいところは、媚酒に酔っ小人のたわ言と思ってお許し願いたいと思う。

私が司法試験を受けたのは今回がはじめてである。かねてから、一回で合格したいと考えていた。一回で合格するということ自体には、たいして意味がないが、考えようによっては、一回目が最も合格しやすいのではないかと思ったからである。何でもそうであるが試験でも、はじめて受けるときは、新鮮味があり、気分的にも最も張りきるものである。その上、司法試験のこわさがわかっていないからのびのびと受けられる、という強味もある。そういう意味で大切な第一回目を、いいかげんな準備でのそんで空振りに終らせるのは惜しい。私は、そう考えて、自分でこれならなんとかいけるのではないかと思うようになるまで、試験を受けないことにした。

受験のための準備は、関大の法学部第二部を卒業した昭和三七年から始めた。司法試験を受けたいという希望は前から持っていたが、在学中は、そのことをあまり考えず、もっぱら、学校の勉強に精を出した。そして、学校に毎日出かけ、講義をきくことによって、徐々に、法律的な思考方法に頭を慣れさせて行くことに努めた。卒業後、司法研究会に入り、答案練習にも参加した。そこで答案を書き、議論をしたことは、自分の実力を知り、発奮するのに非常に役に立った。

私は、受験勉強は短期間に集中しようと考えた。他のことをほとんど犠牲にして受験勉強に専念するというような生活を長く続ける自信がなかったし、勉強は短期間に集中する方がより効果的だと考えたからである。それで、卒業後受験までの二年余は、すきな音楽もあまり聞きかず、映画などにもほとんど行かずに頑張った。私の場合、昼は仕事があるので、読むのは夜になる。夕食後、机に向うが、満腹すると眠くなるので、夕食はなるべく軽くすませ、途中で夜食などをとるようにした。どうしても眠いときは、逆らわずに寝て、朝早く起きることも試みた。

いま、ふりかえってみると、いささか盲蛇におじずの感があるが、司法試験のこわさを知らないため、思いきって受けることができたのが、よい結果をもたらしたのではないかと思う。そのためには、やはり、第一回目の受験を大切にするという態度が役立ったと思っている。もちろん、こんなことも、運よく一回で合格できたから言えることではあるけれども。

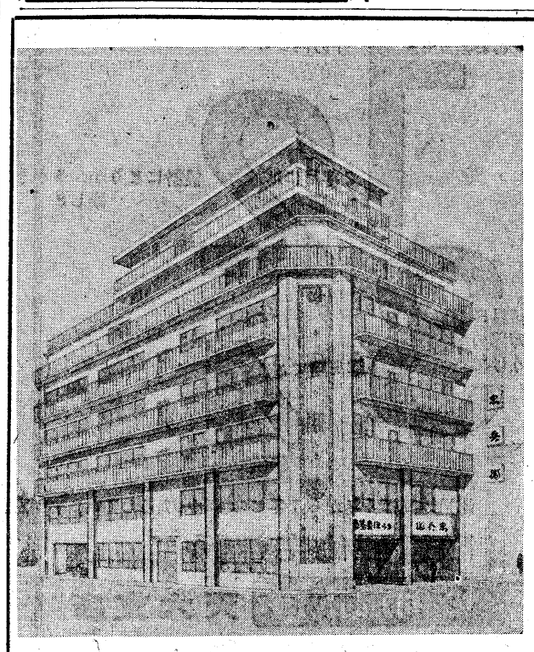
「将来の抱負は」ときかれても、いまのところ、別に何も考えていない。ただ、ほんとうの勉強はこれからだから、気をゆるめずにしっかりやりたいと思うだけである。

【昭37学二法・大阪地裁書記官】

「私の立場」への投稿は校友会事務局編集部あて。テーマ自由、千二百字ていど。顔写真をそえて下さい。

大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島一公
大阪市西区江戸堀北通二ノ三番とみたビル
電話（四四一）一三九四番
自宅　茨木市東宮元町五三番地
電話茨木（〇七二六）―②四一四九番

コーキ印
各種袋物鞄嚢専門卸
株式会社廣島屋本店
専務取締役　蔵田廣造
（昭和25年経済卒）
営業所　大阪市東区博労町一丁目二六
TEL　大阪（261）三六〇〇番　五二六〇番　八二六〇番



蕎麦ほろ
東兵衛
大阪市西区新町通2丁目
電話（630）1677
社長　北井勇三郎

新社屋完成御挨拶
弊店新社屋の建設工事を昨年九月着工以来一年有余漸く、十一月二十日完成の運びとなりました。
此の間皆々様に多大のご迷惑をおかけ致しましたにも拘りませず深いご理解と物心両面よりご援助を賜わり店主一同身にしみて感謝申上げている次第で御座いますお陰をもちまして初期の目標以上に充実した社屋の竣工を見る事が出来ました　これ偏えに皆様方の心からなるご指導とご高庇の賜と衷心より厚く御礼申し上げます

旅　旅行のことならお気軽に校友のツーリストへ
車　安心して乗れる校友のタクシー
関西交通株式会社
八尾交通株式会社
株式会社関西ツーリスト
取締役社長　池田要二郎
（大正13専商卒）
関西交通本社　大阪市天王寺区南河堀町九三　電話天王寺（771）代表七五五一
日本橋営業所　大阪市南区日本橋筋一丁目　電話南（211）五四九四
田辺営業所　大阪市東住吉区田辺西ノ町　電話東住吉（620）一七五三
八尾交通本社　八尾市安中町一丁目三ノ二九　電話八尾二七四五
平野営業所　大阪市東住吉区平野宮町一丁目　電話東住吉（790）代表〇七一八
近鉄八尾駅前　八尾市西郷　電話八尾三一六四
山本営業所　八尾市山本五月橋西　電話八尾三〇八九
関西ツーリスト本社　大阪市天王寺区堀越町　天王寺スティションビル三階　電話（771）三九八八

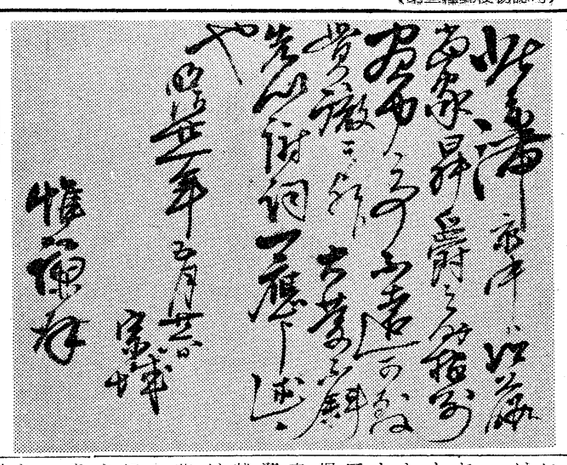
三淀三　一般建築用木材、型枠材
各種内装材全般
淀川木材工業株式会社
取締役社長　井沢与三郎
大阪市都島区高倉町2丁目55番地
電話大阪（921）2075番（代）2076番 2077番

学芸

惟謙先生と藩主宗城候

宇和島に事跡を訪ねて…（四・完）

―春原源太郎―



伊達家宇和島藩は一〇万石である。明治維新の廃藩置県により、各藩主はそれぞれ爵位を授けられ侯高、維新の功績等が参酌されたものようで、宇和島藩主は明治十七年伯爵になっている。

十万石の大名としては相当なところであったかもしれないが、幕末、維新にわたり宇和島藩は藩長などのように余り表立ってはいないが、新文明に遅れまいと長崎で金五万両の蒸気船を買おうとして失敗したときも惟謙先生などが関係しているようである。とにかく勤王といわれるのは、高野長英が伊予に隠れ住んだところは失跡になっているし、長英が宇和島に潜行したのは藩主の列に加えられたからであるとか、長英の日記からいってそんなことはあり得ないとか、勤王志家のせんさくの種となっている。（高野長英史）

「天叙園」という藩主の庭園は著名であるが、そこの松が、その近くの道路にある松が、どれかの大木の根元は長英の会った場所はこの辺であろうなどと伝えられている。老松語らず、どの松の辺かは諸説に任されている。

明治政府によって爵位を与えられた各藩主は、それぞれの功を称して昇爵を望んだ。いつの時代でも人の名誉欲は同じである。カット写真は旧藩主昇爵のことについて、旧宇和島藩士穂積陳重先生と児島惟謙先生とが、時の政府に奔走し、昇爵の見通しがついたとき藩主宗城から惟謙先生に宛てた礼状である。穂積先生に宛てた礼状は宇和島市長所蔵の由であるが、先生宛の分は、校友松川孟一氏（大正14法・弁護士）所蔵で、特に松川先輩に召い同氏の御好意により紹介することができたものである。【カット写真参照】

文中「昇爵の時眼削」とか「速からず貴徹致すべく待ぜられ大慶斜らず」など、宗城候の熱望と喜びの程が察せられる。その後三年明治二十四年伊達家は侯爵になっている。

明治三十一年といえばわが国法学会は独仏いづれかに属し民法典論争のさなかである。穂積陳重先生は東京帝国大学教授として独法学者の論陣を張っていたときであり、弟穂積八束先生は「民法出でて忠孝滅ぶ」の名論を発表された頃である。関西大学は創立三年目を迎えた年のことである。

それにしても、徳川時代ならば藩公から言葉をかけられる機会もなかった軽輩の旧藩士宛に礼を尽した書状を送っているなど、時代の変革を想わせる。

そこで、伝記の伝えるところによると、穂積家に藩主も礼を以て遇する間柄にある（穂積八束伝）これに反し脱藩までの惟謙先生に関しては、宇和島藩の武士であったと伝えられる程度で殆ど不明である。軽輩であったらしく、当時の所属組をさもらい名簿によっても調べることはできない。伝記を書く人は勤王の士といえば好んで阪本竜馬、吉田松陰などをありなどと書くのを常とするが、惟謙伝の筆者もこれを具体的に伝えることもなく、宇和島藩士という程度以上のことを書いていない。脱藩までの先生の足跡については、勤王、佐幕の時代を背景にして考えると、藩ではことさらに不明にしたとも考えられるが、お庭番吉田五の数字に強いことで、結婚が三十五才、護法の神といわれる大審院長尉任が五十五才の働き盛りである。【昭7大法　弁護士　法学博士　校友会代議員】

【事務局から】校友名簿その他整備のため、住所移転、職域異動はなるべく事務局あて御通知下さい。

南米の都市には何月何日通りという名の通りがあって、それがどこでもメーンストリートになっている。ラパスの七月十六日通り、サンパウロの十二月十五日通りなどなどあれて、ブエノスアイレスにも、アベニーダ・ヌエベ・デ・フリオ（七月九日通り）という五百米の幅をもつ世界一広い大通りがあって、それにアベニーダ・デ・マーヨ（五月通り）が交叉している。五月通りの南端の五月広場の周りには大寺院、政庁、国立銀行などの大伽藍が並んで官庁街をなしている。政庁はバラ色の塗装が施されているので、ワシントンのホワイトハウスになぞらえてカーサ・ローサと呼ばれている。この薔薇館を写そうと力メラをかまえて後ずさりして行ったら、公園の木に嫌というほど尻をぶつけた。葉が全部落ちていたから何の木かわからなかったが、一人では抱けない程の大木で、目通りのやくざんだところに異様な落書きがしてあった。等身大YYの中にPを挿し込んだもので黒味がかった樹肌に白ペンキが鮮かに浮出していた。

落書きには色々の性質のものがあるが、次の三つに分類出来るようだ。一つは記念のために記すもので、何年何日何某といった神社仏閣江ノ島などの最も性の悪い落書きだ。どうして登ったかと思うようなチチカカ湖畔の断崖に黒々としたためたワシントン大学登山隊の名前は、どちらへ廻っても邪魔になって、あたら絶景を断念せざるを得なかった。第二は宣伝の目的で記す落書きで共産党の壁新聞に類するものから土産物の広告まである。大統領選挙を旬日にひかえたリマでは、人民戦線のアレンデとキリスト教民主党のフライイの宣伝が入交って、壁はいわずもがな歩道にまで記されていた。

外国を回ってみると落書きの沢山ある国と全然といっていい程ない国がある。アメリカは後者の代表的な国で、一月半いたが、落書きらしいものを見たのは、ホノルル市のワイキキとナイアガラ市のバスターミナルだけだった。よほど落書きの嫌いな国民とみえて、シカゴ、ニューヨーク、ワシントンでは公園の便所まで覗いて見たが、二、三消したらしい跡がかつかっただけで、鉛筆のデッサン一つなかった。

ところでナイアガラの落書きだが、崩れかかった古壁にマジックインクで書いた幼稚なもので、とり上げるほどのものではないが、外にないから仕方がない。一つはアイ・ライク・コラン・ザ・ベスト と書いて、ザ・ベストを消し、モア・トリーと記したもの、もう一つは自分の名前を右中央にして上下に女の子の名前を書き、その間にプラスして二人の名前を書いたものだ。日本なら相々傘にして二人の名前を書くところだが、三人の名前が出て来るところが変っている。ワイキキの大木に深々と刻み込んだのは、名前の前に遵会を発見したのだから、あわてて キャノンのシャッターを切ったことはいうまでもない。アメリカをはじめ、中南米諸国のような独立して三百年にもならない国に立派な落書きのある筈がないとの確信をためかけていた時だけにショックはひどかった。お臍のように凹んだところを選んでVの字が書いてあることから見ても性的落書きであることは明かだが、御丁寧にもその中にPを挿込み発人環境の公園にならす度胸は見上げたものだ。これで南米最大の傑作だと尻の痛さも忘れて見とれていた。

かんじんのカーサ・ローサを写していないことに気がついたので、翌日、また五月広場へ出かけた。この薔薇館には革命軍の射撃で受けた砲弾の跡が残っていると聞いたのでさがしていると、公園の方が騒がしくなった。例の落書きの前に人だかりが出来て四、五人の男が小旗を振って大声でどなっている。何事だろうと近寄った瞬間、声を揃えて叫んだのが、ビーバー・ペロン（ペロン万才）だった。よく見ると小旗にV・Pの結合の染抜かれている。前大統領ペロンの復帰をねらうペロン派の宣伝だったのだ。

かくてせっかく発見した南米の傑作も一場の夢と消えたが、歴史のあるところ落書きありという筆者の学説は無傷で残った。今週で南米を切上げて欧州に渡り、かつてはラテン文化の輝かしい花を咲かせたスペインを振出しにイタリー、ギリシヤ、エジプト、と遍歴の旅を続けるつもりだ。学説の裏づけになる落書きの傑作が見つかるかどうかは帰国してから報告することにしたい。【サンパウロにて在外研究員として海外調査所行中】

「言語生活」（筑摩書房）39年11月号。「独逸学」（関大独文学会）十号（39年11月）

【訂正】115号本欄中、一段目十四行目に「アメリカ言語界の…」とあるは校正の間違で「アメリカ言語学界の…」と訂正。同じく二十四行目「工業」は「工学」と訂正。

この記事に関係のある文章を次の雑誌に発表しています。併わせてごらん下されば幸甚です。

「技術時代の言語のための研究所」を私が始めて訪れたのは、一九六三年五月二日、メーデーはドイツの国家の祭日で、その翌日である。

移転を了えたばかりの新しい研究所の一室に待つほどもなく、所長ヘラー教授から連絡があり、当時、人文学部の学部長でもあった彼の部屋に案内された。旧知の間柄であり、その間彼の編集する文芸誌「アクツエンテー」への寄稿などを通じて、私たちの間には緊苦しい挨拶は不必要になっていたものの、私は矢張り緊張していた。それは誰しもが外国の生活に新しく入ろうとするときに味う類いのものではある。そのときの私はまだホテル住いで、一年間の滞在に身を落ちつける所の心あてはなく（東西間の緊張緩和は、西ベルリンの人口を再び増大させ、かつてない住宅難は私の予想外のひとつであった）、あわただしい出発に、最後の資料を航空貨物便で送り、その運賃約六万円ほどは未払のまま、荷物の方は一足先にテンペルホーフに着いていて、その支払いの交渉も大学にしなければならない（この件はもちろん快く承諾された）等々。しかし、こうしたいわば身辺雑事とは別に、私の頭を占めて離れぬことがあった。それは他ならぬ私の研究テーマそのものであった。

記述を簡略にするため、やや図式的な説明をお許し願いたい。いま仮に、狭義の文学研究法を一方の極におき、他方に同じく狭義の自然科学一般の方法論をおいてみる。前者は、恣意性をその核心とする人間の意志を、後者は、必然性をその出発点にもつ自然の意志を、それぞれの方法論建設の支えとしている。一見、融和不可能にみえるこの二つの体系を繋ぐことができるもの、もしそれがあるとすれば、それは言語研究、そしてその方法論の展開をおいてはない。前回に記した「メタリンギスチック の実践による展開」とは、私が後刻、みずからの課題に便宜上つけたものであるが、そのなかには、文学研究という私の今までの仕事の延長線が、私なりに交差させられている。ところでそのころの私には、まだその大部分が未知数であった研究所の実態が、まだその私に求めているものが、私の企図するものと果して一致するのであろうか、との想いが絶えずつきまとって離れなかった。つまり私の緊張とは、こうした諸点について、所長ヘラー教授が如何に彼の考えをのべるかという期待から生ずるものであった。

ところで久し振りの彼との面談は、このような私の緊張や危惧の念、あるいはそこはかとなく漂っていた期待なども一緒くたにして、一気に霧散させてしまった。遥来の答を迎える必ずかいは、洋の東西を問わずひとしなみのものがある。しかし、それは私はとっては余り重要なものではなかった。決定的なものは彼の次のような言葉であった。その多忙さを想わせる度々の電話に、私はそろそろ退出を考えだしたころ「夏学期のつちは、まあ手さぐりを続けて下さい。何でも結構、あなたの好きなように始めて下さい。研究所のことをまずゆっくり見てから……」彼は、この「手さぐり」という表現に特別のアクセントをおき、身振りまで加えた。一年の期限に半年の運備期間。この提案は私を驚かせ、そして安心させた。なんとなくそんな気がした、「こら、新しい仕事には出来るぞ」と。いまと考えると、これは当然のことかとも思う。いや、自己弁護かも知れない。いま私の手もとにある控えによれば、主な議題は、講義・演習の定検討、各種研究会のプログラム、学内外の他の機関との協同研究、雑誌・研究書の刊行や新しい企画、さらに予算の検討と各部門への配分など、合計十六項目。乏しい経験ながら、私はこのような会議の進行ぶりを他に見たことがない。とにかく、夕闇に惑外の景色が没する頃議題は全て処理されていた。

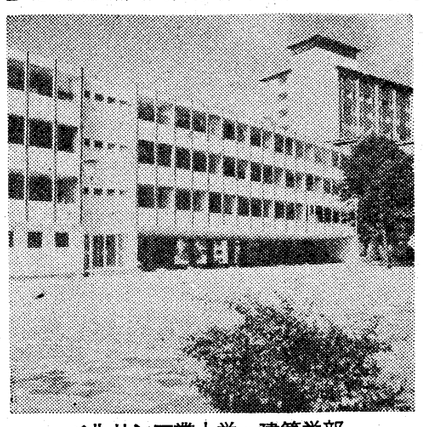
後で判ったことだが研究所の会は議、この他に学期末に再び一回行われる筈である。つまり、この一回の打合わせで、一学期分の主要な要件は全て計画のなかに織りこまれ、その後は既定の流れが進むだけである。こうした事情をしらぬ私は、少々不満でもあった。いや、到着後十日余りの私のコンディションは、このような緊張の連続には、いささか適応性を欠いていたというべきであろう。しかし、後刻私は納得した。そして、その後はそれぞれの研究に充分の力と時間を使える所員を羨ましく思うようになった。彼らは互いに確認しあった各自の分担を果しながら、それ以外は全く自由にそれぞれのテーマに取りくんでいる。日常の雑事に追われるように毎日を過す我々と比べると、遥かに余裕のある仕事ぶりである。彼我の教育・研究制度の本質的な差異は、軽々にその何れを良しとする結論には到りえない。しかし、少くとも落着いた研究体制の存在だけは一日の長を認めたい。その前提として、既述の例が示すように、爆発的エネルギーで事務処理を果す、また果しうる現実については、矢張り我々の学ぶべきものがあることを知らねばならない思う。

到着当時のこの強烈な印象は、その後間もなくある日、全く別な場面で、そして思いもよらぬ方法で一層私の心に彼らの底力の程を知らせる事件によって一層強められた。（未完）

ベルリン工大滞在記録

研究体制についての一考察

文学部助教授　脇阪豊



ベルリン工業大学・建築学部

古本屋を本格的に漁りだしたのは大学三年の秋だったと思う。大阪は学生人口に比べて数少ないがそれでも電車にのりバスに身をよせて軒下をのぞいたものだ。

戦前は日本橋筋に並んでいたと聞く。いまはその面影の片鱗すらみられず、それに代って電器販売店がひしめいている。東京の秋葉原のようだ。昭和二〇年三月の空襲で総ナメにあい全滅したらしい。このなかで夜店から出発して今日にいたっているのが天牛書店である。天牛のオヤジ、苦を重ねて一家をなしている。道頓堀の天牛店は娘ムコの経営で、本店といっているが分家にあたるはずである。当時、法律の専門書中心であったため天牛両店は残念ながら期待薄の店であったが場所柄、ミナミにでたときはかならずというほどのぞいた。小さくともいわばコクのある店は天満橋前の間口一間ぐらいの小店であった。牧野英一の刑法研究、岩波の法律学辞典、刑事判例評釈集など求めた店である。法律学辞典、重いものだったので、この店主、配達しましょうといってくれたが買った嬉し

古本屋のあれこれ

▽扉文字の満足を求めて△

一軸　浩幸

律書は少ない。久礼田益雲氏の日本犯罪論はヒットであった。

ポツンと良書が棚に飾ってあったのが大阪駅専門大店の中のスバル書房である。大学四年の夏、淀川製鋼の西淀川工場へバイトにいき給料もらってこの店に寄ったことがある。その時あったのが松本恭治博士の古稀記念論集〝会社法律書は大海堂書店、上六に天本犯罪論はピカ一である。

ポツンと良書が棚に飾ってあったのが大阪駅専門大店の中のスバル書房である。大学四年の夏、淀川製鋼の西淀川工場へバイトにいき給料もらってこの店に寄ったことがある。その時あったのが松本恭治博士の古稀記念論集〝会社法

ろ四十円だったので十円足らずの店頭で不思議に思ったのである。このことはいまでもはっきり憶えている。しかしまあ十円、私の定価への間違いと思い浮かべ気持で包装紙をといでみればあはからん、五百六十円ではないか、百円札七枚もだす必要がなかったのか本幸かこの二冊の論集、東京ではそれぞれ三千円のプレミヤがついている。

余談になるが専門書をある程度集めるとこの価のことも一つの楽しみになってきた。在京中、神田へいっては私の蔵書と同じ本が棚にあれば買う気はないが手にして値上がりを期待していたものだったので、遠慮したところ、三千三百円を三千二百円にまけてくれた。配達料百円とみたのであろう。

アベノに天海堂書店、上六に天地書房、日本一にも二、三軒あるがいわゆる古い本にはなじみが少なかった。そのなかで梅田新道の東側の某店は古書専門の店だが法律書は大海堂書店、上六に天海堂書店、日本一にも二、三軒あるがいわゆる古い本にはなじみが少なかった。そのなかで梅田新道の東側の某店は古書専門の店だが法

ていたが、二年ほどまえに復刊され一寸ショックであった。

古本は大阪よりも京都の方が私の要求をよりよく満してくれた。京極の電車路、今出川の交差点など家から送金あるたびに通ったところである。風呂敷に数冊かかえて包装紙をといでみればあはからん、五百六十円ではないか、百円札七枚もだす必要がなかったのである。

アベノに天海堂書店、上六に天地書房、日本一にも二、三軒あるがいわゆる古い本にはなじみが少なかった。そのなかで梅田新道の東側の某店は古書専門の店だが法律書は少ない。久礼田益雲氏の日本犯罪論はピカ一である。

ポツンと良書が棚に飾ってあったのが大阪駅専門大店の中のスバル書房である。大学四年の夏、淀川製鋼の西淀川工場へバイトにいき給料もらってこの店に寄ったことがある。その時あったのが松本恭治博士の古稀記念論集〝会社法

たかったので遠慮したところ、三千三百円を三千二百円にまけてくれた。配達料百円とみたのであろう。

アベノに天海堂書店、上六に天地書房、日本一にも二、三軒あるがいわゆる古い本にはなじみが少なかった。そのなかで梅田新道の東側の某店は古書専門の店だが法律書は少ない。久礼田益雲氏の日本犯罪論はピカ一である。

ポツンと良書が棚に飾ってあったのが大阪駅専門大店の中のスバル書房である。大学四年の夏、淀川製鋼の西淀川工場へバイトにいき給料もらってこの店に寄ったことがある。その時あったのが松本恭治博士の古稀記念論集〝会社法

ろ四十円だったので十円足らずの店頭で不思議に思ったのである。このことはいまでもはっきり憶えている。しかしまあ十円、私の定価への間違いと思い浮かべ気持で包装紙をといでみればあはからん、五百六十円ではないか、百円札七枚もだす必要がなかったのである